



つじ 隆一 市議員 議会活動報告

社民党仙台市議団

(TEL 214-8717
FAX 711-3453)

宮城野区版

NO.100

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

2018. 6. 30 発行

事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail : fureai@ilac.plala.or.jp

郡市長就任1年!

「人とまち」中心の市政運営が定着

―平成30年第2回定例会市議会終わる―

計12件の議案審査

平成30年第2回定例会市議会は、6月7日から22日まで開かれ、補正予算、条例改正案など計12件の議案審査を行いました。

補正予算は、国の補助を受け農業機械や施設を導入する農業者への助成経費2800万円計上した1件のみでした。

条例改正案では、まず「地方税法」の改正を受けて、中

小事業者等が「生産性向上特別措置法」に基づいて先端設備等を導入した際に、固定資産税の課税標準の特例に係る割合をゼロにする市税条例の一部を改正する条例が上程されました。

また、市立病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例も上程されました。

これは、保健医療機関に関する規則の改正に伴い、400床以上の病院の初診料を3240円から5400円に引き上げ、再診の場合2700円とするものなどでした。

その他、西多賀市民センターの改築に伴う使用料の改定、5年以上放課後健全育成事業に従事した人を放課後児童支援員とすることができるようにするための

改正案、介護サービス情報公表・調査手数料を定めるもの等が提案されました。

新農業委員の選任

これまで公選制で選出されていた農業委員を市長が議会の同意を得て任命することができるよう法改正を受け、3年間の任期で新たな19名の農業委員の選任が提案されました。

また、仙台市資産等公開審査会の委員の委嘱に関する人事案件も提案され、議案は全て

可決成立しました。

なお、第1回定例会で継続審査となっていた学都フリーパスについて、バス事業の赤字経営の解消策として値上げ(バスのみ、5140円が940円など)する運賃条例の改正案は、13日の本会議で賛成多数で可決されました。

また、「旧優生保護法」による不妊手術を受けた当事者への対応を求める「意見書」は全会一致で可決されました。

持続的な経済発展・交流人口拡大の戦略策定へ

「仙台経済成長デザイン」(14年策定)が今年3月で期間終了となったことを受け、郡市長は新たな経済成長戦略と交流人口ビジネス活性化戦略を策定する方針を示しました。

は数値的には未達成のものが多く、課題が積み残されてきたことを踏まえ、新戦略はその「デザイン」の後継という位置づけになります。

「経済成長デザイン」は、「新規開業率日本一」「年間観光入込数2300万人」「累積新規雇用10万人」「年間農業販売額100億円」などの4つの目標と「チャレンジ中小企業」「テクノロジー都市・仙台」など9つの戦略プロジェクトを掲げてきました。これらの事業

また、観光者のニーズの多様化や20年の東京五輪開催に伴うビジネス増加を見据えた交流人口の拡大戦略を独立して策定することになりました。これらの策定には郡市長自らが先頭に立って地元経済界等との懇話会を開催するなど意見交換を踏まえて取り組む決意も示されています。

第2回定例会で議案提案を行う郡市長



東北放射光施設 への支援を強化

加速した電子の進路を磁石で曲げたときに出るのが「放射光」で、その「放射光施設」は「ナノを見る巨大な顕微鏡」とも言われる大型施設です。物質解明や、生命科学、エネルギー・環境科学など多くの



東北放射光施設の完成予想図

分野での成果が挙げられており、産業競争力の強化に高い効果が期待できると言われています。この施設はすでに全国に8施設ありますが、国内最大級の施設整備をめざし、産官学を挙げて誘致活動を進めてきました。そして文科省

において東北大学青葉山キャンパス内に設置することが決定しました。この施設が整備されれば、約678億円の経済波及効果、約5000人の

雇用が見込まれていると言われていています。

仙台市はこれまで施設誘致に固定資産税や都市計画税の減免(約9億円)を表明してきましたが、追加支援策として「ふるさと融資」の利息補填、事業主体の「光化学イノベーション」への加入金により取得した「利用権」を地元企業に活用してもらう、などの追加支援を行うことを決めました。

市議会・いじめ問題等調査特別委が「中間報告」 「いじめ防止条例の制定へ」

14年9月以来、2年7カ月の間にいじめや体罰が起因と思われ、3名の中学生が自死するという痛ましい事案が発

生し、事実解明と再発防止が大きな課題となってきました。市議会では昨年6月に「い

つじ隆一当面の 主な行動予定

- 7. 4 交通政策調査特別委員会
- 7. 4 社民党市議団他都市視察(～6日 国営東京臨海広域防災公園、板橋・足立区)
- 7. 8 海岸公園完成式、子ども・教育シンポ
- 7.10 いじめ問題等調査特別委員会
- 7.11 佐高信政治塾
- 7.14 市立学校職員労組定期大会
- 7.16 第32回原爆死没者追悼平和祈念式典
- 7.18 燕沢地域交通検討会、宮城野区納涼名刺交換会
- 7.19 いじめ問題等調査特別委員会
- 7.20 市民教育委員会
- 7.24 交通政策調査特別委員会他都市視察(～25日、山口・広島市)
- 7.29 燕沢学区区民まつり
- 7.30 佐高信政治塾
- 8.18 菖蒲沢町内会他盆踊り大会
- 8.19 防災講演会(鹿児島・始良市)
- 8.21 市民教育委員会

じめ問題に関する事実関係の把握と原因の究明を行い、速やかにいじめ及び体罰の防止策を講じることを求め、児童生徒が安心して健全な学校生活が過ごせるようにすること」を目的に調査特別委員会を設置しました。以来、専門家からの意見聴取や理事会での学校現場での調査や議論を踏まえ、今第2回定例会に「中間

いじめ調停委で発達障害への理解を求める片山泰一大阪大学大学院教授(12/4)



報告」を提出しました。

再発防止策としては、①学校内の情報共有や教職員間の連携と役割分担によるいじめ問題への適切な対応体制の整

議会で「不可解な『懲罰』宣告！」

今年2月の第1回定例会の予算等審査特別委員会で、日本共産党への誹謗中傷を繰り返した太白区選出のわたなべ拓議員に対して議事進行がわかり、それを巡って紛糾し、懲罰動議の掛け合いとなり、懲罰委員会の設置など異常な事態が続きました。第1回定例会ではわたなべ拓議員への懲罰動議は少数否決となりましたが、議事進行をかけた花木則彰議員への動議

備、②いじめの認識に際しては初期対応を適切に行う体制、③発達に特性のある児童生徒への理解と支援、④教職員の多忙化の解消、⑤地域が子どもを見守り育てる仕組みづくり、⑥市のいじめ防止策に対しての総括的な役割、などを提言しました。

一方、仙台市は、本年4月から子供未来局に「いじめ対策推進室」を設置し、行政側の対応窓口を整理していくこととし、その中で「いじめ防止条例」の制定(7月に骨子案を予定)への取り組みを進めていくこととしています。

は継続審査となっていました。しかし、第2回定例会中、深夜に及び懲罰委員会で、花木議員への懲罰が課せられることが自民党・公明党などによる多数決で決まりました。議事進行に対して懲罰を科すなどといったことは、議会制民主主義を否定する暴挙であり、多数派の横暴としか言いようがありません。社民党市議団はこれらに反対の立場を貫きました。

燕沢地区の地域交通、10月にスタート！ 市の地域交通スタート支援事業の活用第1号

地域交通問題は燕沢地区でも長年の課題でしたが、昨年夏以来「燕沢交通問題検討会」を立ち上げ、高齢者のサロン活動等を利用しながら意見聴取も行われ、運行ルートや停留所などの検討が進められてきました。

6月18日に30年度の第1回会議が開催され、7月に全世帯のアンケートを実施し、利用ニーズの把握や要望などを

把握し、運行ルートや運賃等の検討を行い、10月から試験運行に取り組むことになりました。

仙台市では、今年度に「みんなでつくりよう地域交通スタート支援事業」に取り組むことになりました。担当部局の体制強化を図り、専門家を派遣するとともに、初めて地域交通の試験運行費用への助成制度が始まりました。



30年度第1回燕沢交通検討会 (6/18)



燕沢の地域交通はこれらの有効活用の第一歩でもあり、その事業展開に大きな期待が寄せられています。

青葉区・中山地区 特区活用保育園・世代間交流施設を視察



保育所整備に土地確保など様々な課題がある中、青葉区・中山に初めて国の「特区」指定を受けて都市公園内に整備された「と

びのこ保育園」を5月24日に視察しました。また同地区内に整備された「世代間交流施設・とびのこハウス」も訪れました。



政令市政策研究集會を仙台市で開催

5月9～10日、毎年開催している政令市議会政策研究集



荒浜地区慰霊塔前で

会が仙台市で開催されました。テーマは「大災害への対応」とし、1日目は地下鉄荒井駅構内の「震災メモリアル施設」、震災遺構として整備した旧荒浜小学校、津波避難タワー等の被災地及び復興事業の視察を行いました。

2日目は、市議会で会議を開き、郡市長より歓迎のあいさつを受けた後、元仙台市復興事業局長・前都市整備局長の鈴木三津也氏より「3・11



郡市長を囲んで

大震災からの教訓」という演題で問題提起を受けました。さらに各都市よりの報告があり、次回は新潟市で開催することを確認しました。

つじ隆一の活動日誌

- 4. 1 鶴ヶ谷9条の会で憲法問題について問題提起
- 4. 6 宮城野区社協・民児協歓送迎会
- 4. 7 岩切消防協力会総会
- 4. 9 燕沢小入学式
- 4.10 西山中入学式
- 4.15 みちのく宮城鹿児島県人会花見
- 4.18 仙台市社会福祉審議会
- 4.20 市民教育委員会、宮城野区職員・選出議員意見交換会
- 4.21 みずほ塾in仙台、燕沢小PTA歓送迎会
- 4.23 食・水・緑を創る宮城県民会議総会
- 4.24 仙台市共同募金会理事会
- 4.25 いじめ問題等調査特別委員会
- 4.26 各派代表者会議他都市視察(～27 横須賀市、町田市)
- 4.28 メーデー宮城県大会
- 4.29 岩切消防分団歓送迎会
- 5. 2 西山中青少年健全育成連絡協議会
- 5. 3 宮城県護憲平和センター総会、憲法を活かす宮城県民集会
- 5. 7 燕沢学区町内会連合会総会
- 5. 9 政令市政策研究会(～10 仙台市)
- 5.13 石巻市議選告示(20日投票)
- 5.14 交通政策調査特別委員会
- 5.16 社民党仙台支部連合定期大会
- 5.17 自治労東北政治連盟学習会(～18 郡山市、東京電力第一原発視察)
- 5.20 燕沢学区文化振興会総会
- 5.21 市民教育委員会
- 5.23 燕沢地域ネットワーク会議、つるがや元気会定期総会
- 5.24 中山とびのこ保育園・世代間交流施設視察
- 5.26 燕沢小・体育振興会大運動会、ソキウスせんだい定期総会
- 5.28 各派代表者会議防災ヘリ拠点施設視察
- 5.30 第2回定例市議会議案説明、宮城野区社協地区社協会長会議
- 5.31 臨時予算等審査特別委員会
- 6. 1 市議会各派代表者会議、県上工下水道民営化問題意見交換会
- 6. 4 反核平和の火タベ(仙台市)
- 6. 5 反核平和の火リレー出発式、復興公営住宅入居者との意見交換会
- 6. 6 仙台市水防訓練
- 6. 7 第2回定例市議会開会
- 6. 9 燕沢地区社会福祉協議会第18回定期総会
- 6.11 反核平和の火タベ(塩釜市)
- 6.12 仙台市総合防災訓練
- 6.13 本会議(～19日)
- 6.16 頑張れ社民党OBGの会総会、反核平和の火リレー到着式・非核平和行進
- 6.17 在日朝鮮人総連合第24回定期大会
- 6.20 市民教育委員会
- 6.22 第2回定例市議会閉会
- 6.23 新田地区社協総会
- 6.25 燕沢地域包括ケア会議
- 6.26 佐高信政治塾
- 6.27 鶴ヶ谷地域再生委員会



6月9日、燕沢地区社会福祉協議会(つじ)議員が会長(の)第18回定期総会が開かれ、認知症対策など新たな支え合う福祉課題への取り組みを確認しました。



支え合う地域福祉の先頭で奮闘

6月25日、特養ホームパルシア内で、燕沢地域包括支援センター主催(地区社協共催)の地域ネットワーク会議で支え合いの活動を確認しました。

その他の主な活動



◆憲法改正で問題提起◆
4月1日、「鶴ヶ谷9条の会」の学習会で辻議員が講師を務め、自民党の改憲案の問題点について、「専守防衛」を逸脱する防衛装備や災害時の緊急事態法整備の問題等を指摘しました。

◆福島原発周辺を視察◆
5月17日、自治労東北政治連盟の学習交流会の一環として、福島第一原発周辺において廃炉の取り組み等の視察を行いました。(写真は、大熊分析・研究センター施設管理棟前)



おかげさまで「議会活動報告100号」

平成3年4月市議会議員に初当選以来、定例化したのは仙台市議会初のことと思いますが、27年間市民と議員の「つながり」を求めて、『活動報告』を発行し続けてまいりました。今号で節目の『100号』を迎えることができました。これまでご意見等をお寄せいただいたりしてきましたが、今後ともご愛読をよろしく願います。